

■特集 鳥取市が「SDGs 未来都市」に選定されました！

鳥取市のまちづくりとSDGs

本市では今年4月に、本市の地方創生の取り組みを深化・加速させ、新たな時代にふさわしいまちづくりを進めるため「第11次鳥取市総合計画」を策定しました。この計画では、本市のまちづくりがSDGsの理念に沿ったものであり、その達成を推進するものであることがわかるよう、各施策とSDGsに掲げる目標との関連を明らかにしています。

本市の総合計画に掲げるまちづくりは、市民のみなさんと協働して取り組むことが必要なものであることと同様に、SDGsに掲げる目標を達成するためには、国や自治体だけでなく、企業や団体、個人などのあらゆる主体が連携することが重要となります。

「世界が抱える課題に対する持続可能な開発目標」というと、難しいことに聞こえますが、その目標の一つ一つには個人が取り組めることがたくさんあります。みなさん一人一人の心がけや行動が、SDGsを推進する大きな力となっていきます。

私たちにもできるSDGs！

～レベル1 ソファに寝たままできること～

- 使っていない電子機器は完全に電源を切ろう
- SDGsに関する投稿を見つけたら、ネットワークの友達にシェアしよう
- SDGsに取り組んでいる企業の製品を買おう



～レベル2 家にもできること～

- 衣類を洗うときは、洗濯機の容量をフルにして使おう
- ドライヤーや乾燥機を使わずに、髪の毛や衣類を自然乾燥させよう
- エアコンの温度を、冬は低め、夏は高めに設定しよう



～レベル3 家の外でできること～

- 「訳あり品」を買って食材の無駄を防ごう
- 買い物にはマイバッグを持参しよう
- 使わないものは寄付しよう



～レベル4 職場でできること～

- 社内の冷暖房装置は省エネ型にしよう
- 職場で差別があったら声をあげよう
- 通勤は自転車、徒歩または公共交通機関にしよう



「持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクション・ガイド」(国際連合広報センター)を基に作成

SDGsを推進する鳥取市の事業

地域食堂とフードドライブ

子どもたちに食事の提供や学習支援を行い、地域のさまざまな人の交流の場として運営されている「地域食堂」は、現在市内の18カ所で運営されています。地域食堂で使用する食材は、家庭で使いきれない食材などをフードボックスに持ち寄っていただく「フードドライブ事業」などで提供いただいています。フードボックスは、市内各地の郵便局に設置されているほか、7月からは、市内のファミリーマート31店舗にも設置されています。



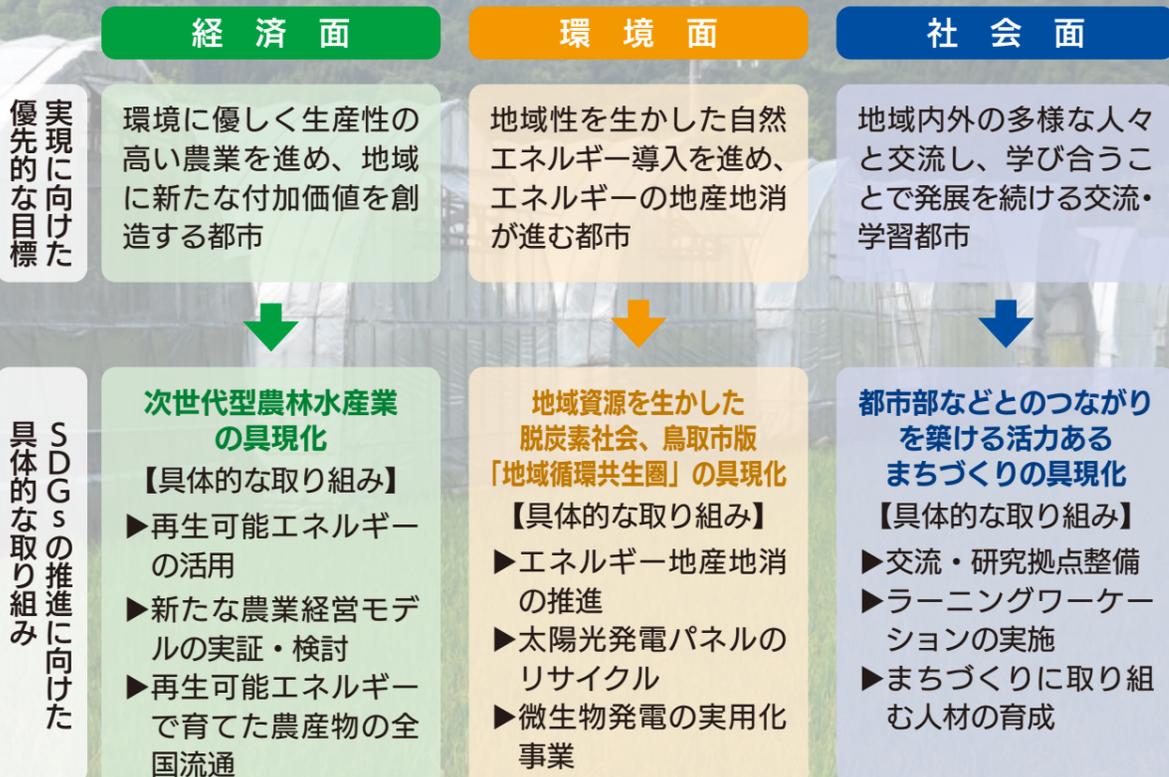
フードボックスに寄せられた食材。賞味期限が2カ月以上先の調味料、レトルト食品や、お米などを提供いただいています。

鳥取市がめざす「SDGs 未来都市」

『サステナビリティ × イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』

本市では、「環境保全」と「経済活性化」が両立した持続可能な地域を創出するため、「食」と「エネルギー」の自給自足を達成する農村モデルの構築をめざしています。特に注力する取り組みとして、市民・企業・団体などと連携しながら、再生可能エネルギーの自給と、リサイクル材などを活用した新たな電源開発を進め、それらのエネルギーを活用した、環境に優しく、生産性の高い農業モデルを構築していきます。

2030年の鳥取市のあるべき姿
さまざまな人がつながり、「食」と「エネルギー」の自給自足が達成できる地方都市



提案内容についてのお問い合わせは、本庁舎企業立地・支援課 (☎ 0857-20-3225 ☎ 0857-20-3947) へ